末期までは榛名町と柳町にはお諏訪様のまんどうもあった。また、二四日には御祭神の御神徳に因み、必ず三粒以上の雨が降ると信じられている。

この祭は二四日が宵祭、二五日が本祭であるが、二五日には一年間に親を失った人だけが参詣する慣わしで、その人達は、参詣以外は外出してはいけないので、親類近隣の者の方がその家のカゲ見舞をすることとなっていた。

一〇月　一日　月次祭

一〇月一五日　大国大祭

枝社として奉られている商業、交通の神、大国主の命の祭。他の神社の秋祭にあたり、収穫への感謝、商売繁昌、交通安全が祈られる。

一一月　一日　月次祭

一一月一五日　七五三

三才、七才の女の子、五才の男の子は氏神さまにお参りし、無事成長を奉告すると共に、将来の大成を祈ります。

武家時代の三才・髪置き、五才・袴着、七才・紐解きの儀式が現代の七五三へと遷りました。

一二月　一日　月次祭

一二月一九日　神迎祭（旧一一月一日）

お神迎えは神無月に出雲に出向かれた御祭神がお宮にお帰りになるのを出迎える祭りである。

拝殿にて神迎えの祝詞が奏上され、境内では天上からの目印とするべくかがり火がたかれ、地元有志による伝統の甘酒のふるまいが行われる。

一二月二三日　天長祭

一二月三一日　師走大祓

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

その他一年を通して初宮詣・車祓い・厄除け等を受付けている。

雅楽の練習会のご案内

月に二回（夜）、興味のある方にお集りいただき、練習会をしたいと思います。一度も楽器をさわったことのない人も大歓迎です。ゆくゆくは〝合奏〟をめざして練習をしたいと考えています。お電話お待ち致しております。

☎ 二二－二六五五

※舞をやって見たい方もご連絡下さい

霧島・鵜戸神宮を参拝
氏子総代会研修親睦旅行

平成十年二月二三日、二四日、二五日の二泊三日で、榛名神社氏子総代会研修親睦旅行が実施されました。

今回は霧島神宮、鵜戸神宮の二神宮を正式参拝する南九州の旅。参加人員は総代会十八名、敬神婦人会六名、宮司の総勢二十五名。

早朝、まだ日の昇る前に、観光バスで榛名神社を出発。羽田空港より空路鹿児島空港へ。貸し切り観光バスで、まず本場焼酎工場を見学。正式参拝前なので試飲は少しに控えて、天孫降臨の神話の地、高千穂の峰へ。しかし現地は雨と濃霧で、バスの中からの見学。

午後、第一の目的地、霧島神宮に正式参拝。参拝の後、社務所にて高橋宮司より講話をしていただきました。おみやげにいただいたお神酒がご当地本場焼酎で、一日目の宿地霧島温泉で、たいへん美味しくいただきながら参加者全員で大いに懇親を深めました。

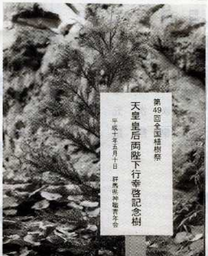
二日目朝、ホテルチェックアウト前にアクシデント発生。なんと、進行先の宮崎日南海岸が集中豪雨による崖崩れのため通行止めの情報があり、鵜戸神宮社務所に電話で確認をすると、やはり参拝不可能との返事。

やむを得ず行程を大幅に変更し、鹿児島神宮を自由参拝し、鹿児島市内を観光。昼食も変更を余儀なくされ、バスのドライバーの推薦で鹿児島ラーメンを全員で美味しくいただきました。夕刻、全国的に有名な指宿温泉に到着。砂蒸し風呂や大浴場にゆっくりとつかり、旅の疲れを癒しました。

三日目には天候も回復し、長崎鼻、池田湖、知覧の武家屋敷、特攻記念館等を観光し、勢いよく噴煙を噴き上げる桜島を見ながら、再び鹿児島空港より空路羽田へ。

夜、参加者全員無事に笑顔で帰沼いたしました。

天皇、皇后両陛下行幸啓記念植樹



県内の若手神職からなる群馬県神職青年会（会員45名会長 榛名神社宮司 金子浩隆）では、5月、地元沼田で開催された第49回全国植樹祭への、天皇、皇后両陛下の行幸啓を記念して、会員の奉職する全神社への記念植樹を行いました。

当社へも境内神社東側へ、植樹祭当日、天皇陛下がお手植えになられた『杉の苗木』を記念プレートとともに宮司が植樹しました。

（上の写真は、境内に植えられた杉の苗木）

敬神婦人会
会員の皆様へ

皇居清掃奉仕参加者を募った際には多くの方に応募いただきありがとうございました。すでにご承知とは存じますが宮内庁の募集要綱の変更により奉仕の日が連続四日となったことに伴い、残念ながら清掃奉仕は役員会にて話し会いましたところ、中止とさせていただくことになりました。せっかくお申し込みをしていただいた方には本当に申しわけありませんでした。

平成十一年の榛名神社研修旅行は皇居の見学を含めた一泊旅行を企画しておりますので、その際に、ぜひご参加下さいますようご案内かたがたお願い申し上げます。

尚、第三回総会は十月十五日の秋の大祭の後に予定致しておりますので、よろしくお願い致します。

惟神（かんながら）の道

過日、沼田において開催された全国植樹祭に参加され、天皇、皇后両陛下を間近に拝された方が「なぜか涙があふれて止まらなかった。自分はまだ若いが、やっぱり日本人の血が流れているのかね。」と話されていました。

昔の歌に「なにごとが　おわしますかは　わからねど
ありがたさに　なみだあふるる」というのがあります。

神道は〝道〟であり、宗教の〝教え〟ではありません。〝教え〟ではないので当然だれかから「こうしなさい」と教わるものではありません。

日本人は昔から、神社の前で〝自然に〟神様のお恵み、お守りを乞い、感謝を念じ手を合わせてきました。日本人に日本民族の血が流れているかぎり、「ありがたさに涙があふれる」という清らかな心は残存します。

惟神（かんながら）の道という大昔から日本人が歩んできた大道は、日本民族の血の中に脈々と流れ続けているのです。

榛名神社
役員名簿

名誉宮司　金子安平
宮司　金子浩隆
権祢宜　金子由紀子
権祢宜　金子三男

東倉内町参与　市村正臣
西倉内町参与　小池渥
柳町参与　芝崎正之
高橋場町参与　増田守雄
材木町参与　須田勝巳
桜町参与　丸山勝
上原町参与　林初太郎
東原新町参与　小嶌正雄
西原新町参与　武井満喜男
榛名町参与　新井信太郎
清水町参与　手島茂
薄根町参与　生方日出正

東倉内町氏子総代　杉田大吉
〃　田村正吉
〃　伊藤金一
西倉内町氏子総代　熊沢肇
〃　尾崎好
〃　林吉治
柳町氏子総代　萩原郡二
〃　斎藤圭司
〃　鈴木恒一郎
高橋場町氏子総代　若松房雄
〃　青柳吉雄
〃　村山行雄
材木町氏子総代　関口長太郎
〃　桑原幹
〃　星野進
桜町氏子総代　霜垣政夫
〃　唐澤和夫
〃　小野敬一
上原町氏子総代　鷲頭長雄
〃　吉沢睦男
〃　小林友永
東原新町氏子総代　石田清六
〃　宮川喜一
〃　千吉良直太
西原新町氏子総代　小林一郎
〃　吉野政雄
〃　山本広一
榛名町氏子総代　金子甚太郎
〃　金子廣久
〃　田村孝雄
清水町氏子総代　高居厳夫
〃　梅沢義夫
〃　木内英隆
薄根町氏子総代　牧野芳成
〃　渡辺永次郎
〃　舟橋又一

敬神婦人会役員

会長　清水貞子（高橋場町）
副〃　小林祐子（西原新町）
〃　林榛江（榛名町）
会計　新井ア一（清水町）
書記　金子かよ子（榛名町）
幹事　阿形ハツノ（東倉内町）
〃　雨森敬子（西倉内町）
〃　関根きくよ（柳町）
〃　富澤和子（高橋場町）
〃　桑原久子（材木町）
〃　霜垣はる（桜町）
〃　鷲頭岩子（上原町）
〃　井上匡子（東原新町）
〃　吉野照子（西原新町）
〃　桜田キミ子（榛名町）
〃　林孝子（清水町）
〃　見城宮子（薄根町）
顧問　宮司　金子浩隆
〃　氏子会長　石田清六